



岐阜県鉱工業指数 (平成20年8月分)

生産指数 前月比5.7%の低下

1 概況

平成20年8月の県内鉱工業の動向を季節調整済指数で見ると、一般機械工業、プラスチック製品工業等が上昇したものの、輸送機械工業、金属製品工業等が低下したため、前月に比べ生産指数は5.7%減と低下に転じた。また、出荷指数も8.2%減と低下に転じ、在庫指数は3.1%増と5カ月連続で上昇した。

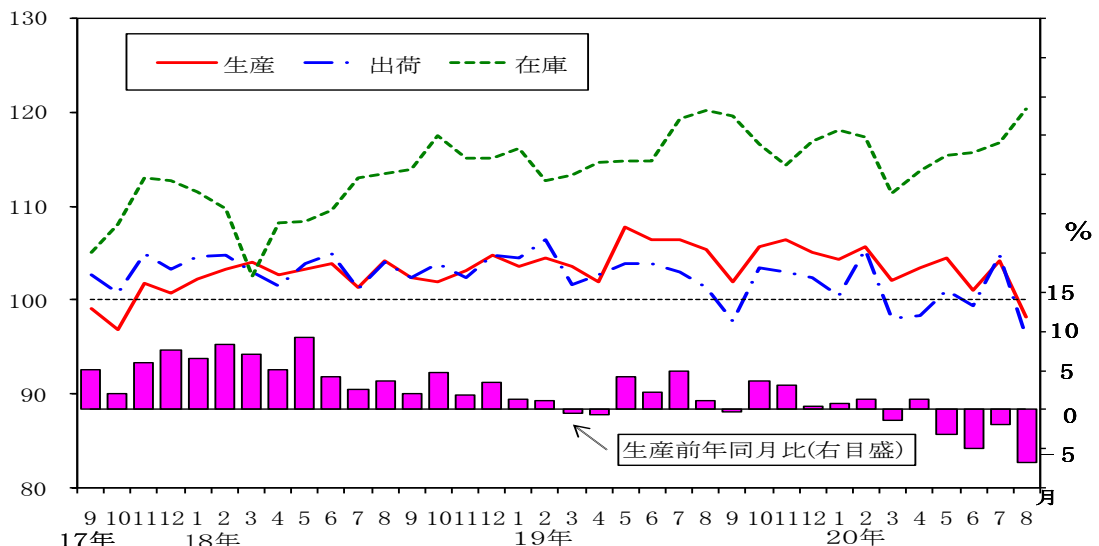
なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は6.8%減となり、4カ月連続で前年を下回った。

(平成12年=100)

区 分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	98.3	△ 5.7	92.3	△ 6.8
出荷	96.1	△ 8.2	89.2	△ 5.1
在庫	120.3	3.1	120.8	0.1

鉱工業指数の推移

(平成12年=100)



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。

原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、超硬チップ、軽金属板製品（産業用品）等が増加したものの、ボルト・ナット、アルミサッシ等が減少したため、10.0%減と低下に転じた。また、出荷も9.6%減と低下に転じ、在庫は3.1%増と4カ月ぶりに上昇した。

機械工業の生産は、研削盤、デジタルカメラ等が増加したものの、携帯電話、乗用車ボデー等が減少したため、6.1%減と低下に転じた。また、出荷も7.2%減と低下に転じ、在庫は4.8%増と前月に引き続き上昇した。

窯業・土石製品工業の生産は、耐火煉瓦、生石灰等が増加したものの、陶磁器製タイル、ガラス製品（容器類）等が減少したため、5.3%減と低下に転じた。また、出荷も15.9%減と低下に転じ、在庫は横ばいとなった。

プラスチック製品工業の生産は、プラスチック製機械器具部品、プラスチック製継手等が減少したものの、プラスチック製フィルム、プラスチック製容器等が増加したため、1.9%増と前月に引き続き上昇した。また、出荷は2.6%減と低下に転じ、在庫は0.4%増と4カ月ぶりに上昇した。

繊維工業の生産は、羽毛・羽根ふとん、綿糸等が増加したものの、不織布、毛織物等が減少したため、7.6%減と3カ月連続で低下した。また、出荷も8.4%減と前月に引き続き低下し、在庫も1.1%減と4カ月ぶりに低下した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成12年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)
金属製品工業	110.1	△ 10.0	△ 5.5	105.1	△ 9.6	△ 8.7	62.5	3.1	1.3
機械工業	114.6	△ 6.1	△ 4.2	119.2	△ 7.2	△ 0.3	198.9	4.8	△ 1.4
一般機械工業	132.9	2.9	△ 1.7	130.1	1.3	△ 2.7	-	-	-
電気機械工業	61.4	△ 13.5	△ 10.9	81.4	△ 6.4	5.4	-	-	-
輸送機械工業	157.1	△ 9.6	△ 4.0	162.0	△ 9.6	△ 3.0	-	-	-
窯業・土石製品工業	83.8	△ 5.3	△ 24.0	73.4	△ 15.9	△ 20.6	111.9	0.0	6.1
プラスチック製品工業	99.7	1.9	0.9	98.2	△ 2.6	△ 4.5	95.2	0.4	△ 4.3
繊維工業	51.2	△ 7.6	△ 9.0	41.2	△ 8.4	△ 25.0	44.1	△ 1.1	△ 8.1

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成12年=100)

